

教育研究業績書

所属	職名	氏名
現代文化学部・文化言語学部	准教授	三浦 知志

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 研究員としての教育活動 教員としての教育活動	平成22年4月～26年3月 平成23年4月～現在	所属する研究室におけるゼミや読書会で積極的に発言し、教員・学生間の活発な意見交換の場を作りだすうえで主導的な役割を担った。また学位論文等の執筆を行う学生のために原稿の添削をしたり、論文審査会のための発表練習を設け、発表について助言したりするなどの指導を行った。 講義用のスライド(Microsoft PowerPoint)を作成し、画像資料を多く用いて、また適宜DVD等の映像資料を利用しつつ、学生の興味を引きながら講義を行った。講義ではあらかじめ学生に対し授業内容に関する質問をしておき、学生が問題意識を持ちながら積極的に講義に臨むことができるような工夫をした。レポートの作成方法についての講義も用意し、説得的な文章を書くための指導も心がけた。
(2)作成した教科書・教材・参考書 特になし		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 特になし		
(4)その他教育活動上特記すべき事項 特になし		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書) 特になし					
(論文)					
ウインザー・マッケイのメタ表現と見世物文化	単著	平成20年4月	『マンガ研究』13号、日本マンガ学会		pp.6-25
「レアビット狂の夢」の固定キャラクター不在について	単著	平成21年3月	『ナラティブ・メディア研究会活動報告書』、ナラティブ・メディア研究会(東北大学)		pp.53-68
ウインザー・マッケイのマンガ作品に関する研究—「レアビット狂の夢」とマンガ言説の問題—	単著	平成22年3月	東北大学大学院情報科学研究科(博士学位論文)		pp.1-207

コミックストリップにおける言葉遊び—マッケイによる言語表現の物語化—	単著	平成22年8月	『ナラティヴ・メディア研究』2号、ナラティヴ・メディア研究会		pp.47-66
ブリッグス『カートゥーンの描き方』におけるカートゥーンとコミック・ストリップの関係	単著	平成23年11月	『ナラティヴ・メディア研究』3号、ナラティヴ・メディア研究会		pp.5-25
「イエロー・キッド」の描画スタイルにおける均質性の欠如について	単著	平成25年3月	『ナラティヴ・メディア研究』4号、ナラティヴ・メディア研究会		pp.15-36
4コママンガのシーンの想起における境界拡張	共著	平成25年3月	『マンガ研究』19号、日本マンガ学会	船津徹、三浦知志、窪俊一、和田裕一	pp.8-28
日本のマンガの場面描写の分析—コマに描かれる内容の歴史的変遷—	共著	平成26年3月	『マンガ研究』20号、日本マンガ学会	船津徹、三浦知志、窪俊一、和田裕一	pp.51-73
マンガの読みにおける運動表象—マンガに含まれるimplied motionの知覚に及ぼす文脈情報の影響—	共著	平成27年3月	『マンガ研究』21号、日本マンガ学会	和田裕一、船津徹、三浦知志、窪俊一	pp.31-49
ファイニンガー「ウィー・ウィリー・ウィンキーの世界」における登場人物の主観性について	単著	平成27年3月	『マンガ研究』21号、日本マンガ学会		pp.50-79
「中間領域」としての手紙—マンガのなかの手紙と作中人物の視点について—	単著	平成29年9月	『ナラティヴ・メディア研究』6号、ナラティヴ・メディア研究会		pp.71-100
(その他)					
(論考)					
フレデリック・オッパーの神業	単著	平成25年2月	『ユリイカ 総特集／世界マンガ大系』3月臨時増刊号、青土社		pp.176-182
『ピーナッツ』の描線が持つ力	単著	平成25年9月	『芸術新潮 特集／チャールズ・M・シュルツとスヌーピーのひみつ』2013年10月号、新潮社		pp.60-70
19世紀アメリカのマンガ史概略——論考「コミック・ストリップの起源」を参考に	単著	平成28年12月	ウェブサイト「M studies マンガ研究フォーラム」(http://mstudies.org/2016/12/04/398)		※ウェブサイト
(書評)					
細馬宏通著「ミッキーはなぜ口笛を吹くのか アニメーションの表現史」	単著	平成25年12月	『週刊読書人』2014年1月3日号、読書人		p.6
(学会発表)					
マッケイ作品におけるマンガ内在的批評の検討	単独	平成20年2月	ナラティヴ・メディア研究会第1回ワークショップ(東北大学)		
『ニューヨーク・イブニング・テレグラム』における初期コミックストリップ	単独	平成21年6月	日本マンガ学会第9回大会(東京工芸大学)		
ウィンザー・マッケイのコマ構造	単独	平成21年7月	ナラティヴ・メディア研究会第6回研究会(東北大学)		

ティエリ・グルンステン論文要旨	単独	平成22年10月	ナラティヴ・メディア研究会第11回研究会(東北大学)		
近年の古典コミックのアーカイブ研究の状況について	単独	平成24年2月	日本マンガ学会海外マンガ交流部会第4回例会(京都国際マンガミュージアム)		
初期アメリカ新聞コミックの「カートゥーン・モード」	単独	平成25年1月	ナラティヴ・メディア研究会第15回研究会(東北大学)		
初期アメリカ新聞コミックの見取り図	単独	平成25年6月	日本マンガ学会海外マンガ交流部会第6回例会(京都国際マンガミュージアム)		
日本のマンガの場面描写の分析—コマの表現法の時代による変遷—	共同	平成25年7月	日本マンガ学会第13回大会(北九州市漫画ミュージアム)	船津徹、三浦知志、窪俊一、和田裕一	
コマの並置にともなう読書方向の構造—マンガの構造的方向性とコマの左右反転が印象に及ぼす影響	共同	平成26年6月	日本マンガ学会第14回大会(京都精華大学、京都国際マンガミュージアム)	泉信行、三浦知志、窪俊一、和田裕一	
マンガ研究を題材としたアクティブラーニング—大学1年生を対象とした授業実践報告	共同	平成27年6月	日本マンガ学会第15回大会(広島市・アステールプラザ)	和田裕一、三浦知志、窪俊一	
視線分布からみたマンガの読みの男女差	共同	平成28年6月	日本マンガ学会第16回大会(東京工芸大学)	身吉烈、三浦知志、窪俊一、和田裕一	
マンガのなかの手紙	単独	平成28年9月	ナラティヴ・メディア研究会第20回研究会(東北大学)		
マンガの読みの視線行動と読み手の個人特性との関連性を探る	共同	平成29年6月	日本マンガ学会第17回大会(新潟市・クロスパルにいがた)	和田裕一、三浦知志、窪俊一	
マンガのなかの手紙—初期アメリカンコミックスを中心に	単独	平成29年7月	日本マンガ学会海外マンガ交流部会第10回大会公開研究会(専修大学神田キャンパス)		
Discussing Comics Internationally: On Recent Comics Studies in Japan	単独	平成29年10月	POP-REALITY: Japan through the eyes of Japanese, Japan through the eyes of the world (Jagiellonian University, Krakow, Poland)		
視線情報からみたマンガの読みの個人差—「視覚型・言語型」認知スタイル理論に基づく考察	共同	平成30年6月	日本マンガ学会第18回大会(京都精華大学・京都国際マンガミュージアム)	和田裕一、三浦知志、窪俊一	
(講演・シンポジウム)					
「未来を奪おう—日露若者懇談会」		平成23年3月	会場・立正大学、主催・国際交流基金、ユーラシア研究所		
「情報教育シンポジウム～東日本大震災における情報メディアの活用状況～」		平成23年12月	会場・仙台市戦災復興記念館、主催・NPO地域情報モラルネットワーク		

「サブカルチャー市場確立の分岐点について」		平成24年3月	会場・東北工業大学一番町ロビー、主催・TOHTECHサブカルチャー業界研究会		
「初期アメリカ新聞コミックスの世界」		平成25年6月	日本マンガ学会海外マンガ交流部会第6回例会、会場・京都国際マンガミュージアム		
「ガイマン賞2013結果発表と総まとめ&初期アメリカコミックの魅力について」		平成25年12月	主催及び会場・明治大学米沢嘉博記念図書館		
「マンガのナラトロジー」		平成27年11月	主催及び会場・学習院大学人文科学研究科身体表象文化学専攻		
(展示企画)					
「19世紀末～20世紀前半アメリカ漫画資料展」		平成23年7月	企画・東京工芸大学芸術学部マンガ学科、協力・川崎市市民ミュージアム、会場・東京工芸大学中野図書館		
「19世紀末～20世紀前半アメリカ漫画資料展」		平成24年5月～7月	主催及び会場・川崎市市民ミュージアム		
(その他)					
ウェブサイト「いたずらフィガロ」	単著	平成27年11月～現在	(http://comicstrips.hatenablog.com/)		

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

平成14年4月～現在	日本マンガ学会正会員
平成24年4月～27年3月	科学研究費補助金「マンガとファンタジー教科書の「読み」に関する実証的研究」(基盤研究(C)課題番号24501173:代表・窪俊一、研究費・5200千円)への参加(研究分担者および研究協力者として)
平成25年4月～28年3月	学習院大学人文科学研究所の共同研究プロジェクトへの参加(客員所員として)
平成27年4月～29年4月	日本マンガ学会第15～17回大会実行委員
平成29年8月～現在	文化庁メディア芸術祭マンガ部門選考委員